

教科名	社会科	科目	歴史	週授業時間	2
-----	-----	----	----	-------	---

1. 教科書および副教材・参考書

教科書：中学社会『歴史 未来をひらく』（教育出版）

副教材：歴史の完全学習 1（正進社）・歴史の完全学習 2・3（正進社）

歴史の用語図鑑（正進社）

2. 授業の目標および内容

主に近世から近代までを学習します。鎌倉幕府が成立してから江戸幕府滅亡までのおよそ 700 年にわたり武家政権が存在していた時期に相当し、江戸幕府滅亡後は天皇を中心とする近代的国家が形成され、現代日本につながる多くの制度や文化が芽生えていきますが、その前段階としての武家政権の意味や本質を踏まえ、明治以降の社会との差異を捉えることができる力を身に着けることを第一の目標とします。

第二の目標として、——「歴史とは過去と現在との対話である」——これは著名な歴史学者の言葉ですが、この言葉を一種のスローガンにし、歴史をただの「過去」ととらえるのではなく、現在とのつながりで把握しようとする歴史的思考力をはぐくみます。

また、グローバル化が声高に叫ばれる昨今、自分の意見を表明し、他者に発信することのできる力の重要性は自明です。したがって、講義だけの授業にとどまらず、極力生徒が主体となって考え学ぶことのできる仕掛けを駆使しながら歴史学習の持つ意味や重要性を感じながら、自らの言葉で自らの意見を発信することのできる力を、歴史学習を通して身につけてもらいたいと思います。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5 月	二次 7 月	一次 10 月	二次 12 月	期末 3 月
学力試験	なし		なし		なし

内容・難易度について

定期試験：社会として、歴史と地理と 50 点ずつ出題します(合計 100 点)。範囲はその都度指示します。

記述問題では、歴史的な出来事を説明させる問題などを出題します。

4. 課題・補習について

日々授業に応じた課題を出す予定です。また、夏休みなどの長期休業期間はレポートの作成なども課していきます。主題や内容等については事前の授業で指示します。

5. 評価の観点

定期試験の得点を基準としながら、学力テストや課題の提出状況などを総合的に評価します。

学期	単元	学習内容	備考
1	中世の世界史 安土桃山時代 江戸時代（初期～後期）	第4章1節 結びつく世界との出会い ①中世のヨーロッパ世界とイスラム世界 ②ルネサンスと宗教改革 ③大航海時代 ④鉄砲とキリスト教の伝来 第4章2節 天下統一への歩み ①織田信長と豊臣秀吉 ②豊臣秀吉の政治/文化 第4章3節 幕藩体制の確立と鎖国 ①江戸幕府の成立と幕藩体制 ②キリスト教と海外への行き来の禁止 ③江戸時代の国際関係 ④琉球王国とアイヌ ⑤江戸時代の身分制度 第4章4節 経済の成長と幕政の改革 ①経済の発達と都市の繁栄 ②元禄文化と暮らし ③享保の改革/田沼の政治/寛政の改革/天保の改革 ④化政文化 ☆近世のまとめ	ロイロノートを使用し、双方向的に授業を進めていく。
2	近代の世界史 江戸時代（幕末） 明治時代	第5章1節 近代世界の確立とアジア ①議会政治の始まり ②アメリカ独立革命/フランス革命 ③産業革命と資本主義社会の成立 ④欧米列強の成立 ⑤アジアの植民地化と抵抗 第5章2節 開国と幕府政治の終わり ①ペリー来航と開国 ②攘夷から倒幕へ ③江戸幕府の滅亡 第5章3節 明治維新と立憲国家への歩み ①明治維新 ②富国強兵 ③殖産興業・文明開化 ④明治政府の外交政策 ⑤北海道と沖縄 ⑥自由民権運動と政党の成立 ⑦憲法の発布と議会の成立	
3	明治時代	第5章4節 激動する東アジアと日清・日露戦争 ①条約改正 ②日清戦争 ③義和団事件・日露戦争 ④韓国併合と辛亥革命 第5章5節 近代の産業と文化の発展 ①日本の産業革命と社会問題 ②明治時代の文化 ☆近代のまとめ	